

高齢者のためのインフルエンザ予防接種のお知らせ

保健センター ☎(93) 8300

10月15日から高齢者インフルエンザ予防接種希望者の方に、予防接種を実施します。対象者の方には、10月上旬に直接保健センターから予約票を郵送しますのでご確認ください。接種を希望される方は、必ず医療機関へ予約のうえお出かけください。なお、予約の開始時期は医療機関によって異なりますので、直接医療機関にお問い合わせください。

▼対象者 ①65歳以上の方(昭和31年1月31日生まれ以前の方) ②60歳から64歳の方で、心臓・腎臓・呼吸器に重い病気(身体障害者手帳1級程度)のある方、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害(身体障害者手帳1級程度)のある方

▼実施期間 10月15日(木)

※令和3年1月31日(日)

※ただし、医療機関の休診日は除きます。

▼接種費用 1,200円

(医療機関の窓口でお支払いください。)

▼実施場所 扶桑町・大口町・犬山市・江南市委託医療機関

※右記以外で接種ご希望の方は、事前に保健センターへ申請が必要です。

*本人による接種意思の確認ができない方は接種できませんのでご注意ください。

健康・ど・アップ教室のお知らせ

保健センター ☎(93) 8300

みなさんが今大切にしている宝物はなんですか。これから5年後、10年後のあなたが健康であり続けるために、自分自身の健康について、一緒に考えてみませんか。



今回、保健センターではみなさんの健康支援のための「健康・ど・アップ教室」を開催します。ぜひご参加ください。

※会場準備のため、事前に保健センターへお申し込みください。

▼日時 9月4日(金)

受付…午後1時15分

開始…午後1時30分～3時

▼場所 保健センター

▼内容 骨コツ教室

↳運動で予防!骨粗鬆症

▼定員 30名

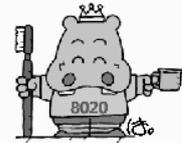
▼持ち物 運動のできる服装、室内用運動靴、飲み物

▼申込み 電話または保健センター窓口へお申し込みください。定員になり次第締め切ります。

はちまるくん日より

「唾液の隠されたパワー!」その1

犬山扶桑歯科医師会



日常的に「つば」と呼ばれる唾液は、どちらかというと汚いもの、嫌なものというマイナス・イメージでとらえがちですが、人間にとってなくてはならない、最も重要な体液の一つです。「食べ物を飲み込む為の水分」という以上に、全身の健康にかかわる活躍をしています。

かつて歯の治療を受ける子供たちの口の中はすぐに唾液でいっぱいになりましたが、最近では口の中に唾液がたまらない子供が増えている様です。軟らかい食べ物が増えたことで幼少期に必要な「咬む訓練」が出来ていないことが原因ということも言われています。唾液が最も出るのは食事中で、普段の約10倍になり、咬まない食事で唾液分泌のピーク量が減ると、食事以外の場面でも唾液が出てくくなります。唾液には歯を強くする性質もあります。食事をすると歯の表面に付いたプラーク(歯垢)が酸を作り、酸に弱いエナメル質はわずかですが溶け始めます。これが「むし歯」の始まりで「脱灰」です。脱灰のままむし歯が進行してしまうのを防ぐのが唾液の力です。食事で酸性

膠原系難病患者・家族のつどい「ふきのとう」のご案内

江南保健所 ☎(56) 2157

保健所では全身性エリテマトーデスや強皮症などの膠原系難病の患者さんとその家族を対象に、つどいを開催します。今回は、膠原病内科の専門医による講演会を行います。参加ご希望の方、関心のある方は、ご連絡ください。

▼日時 10月9日(金)

午後2時～3時30分

▼場所 江南市布袋ふれあい会館

(江南市布袋町東359)

▼内容及び講師

●「膠原系難病との上手な付き合い方」

藤田医科大学病院

リウマチ・膠原病内科

胡桃沢 芽久美 先生

▼申込期間 10月8日(木)まで

▼申込み・問い合わせ

江南保健所 健康支援課

地域保健グループ(難病担当)